

ヤオコー駒林店の交差点整備の住民説明会は

問 ヤオコー駒林店の交差点周辺整備は県が実施を約束している。説明会は行なったのか。
答 駒西小脇の市道整備もあり、県と協力して今年、住民説明会をします。

公共施設の維持管理と設備の有資格者登用は

問 公共施設の設備関係に不備が出た場合の対応は。また、委託による保守点検の確認はどのように行なっているのか。
答 担当者が内容の詳細説明を受け、対応の必要の有無を判断します。緊急の場合は、委託先の技術者で対応していきます。また、老朽化した施設については、修繕計画を作成していきます。

問 専門の設備技術者の登用が難しければ、シルバー人材センター等の人材活用・委託は。
答 ご提案のような人材活用もぜひ検討したい。

問 鶴ヶ岡分館の建て替えと、

鶴ヶ岡分館の建て替えは

ではどうか。

答 環境整備は重要な課題、積極的に進めます。オンライン化については検討します。市民開放は、地域の要望に基づき取り組みます。

放課後の子どもの居場所づくりを

問 放課後、週末等に学校・行政・地域が一体となり、子どもの居場所づくりの推進を。
答 子どもに合った内容を進めていきます。

生徒指導への文科省の見解は

問 文科省は、問題行動を起こした生徒に対し、出席停止など厳格な対応を求めているが、市の対応は。

答 一方的な措置とならないよう、生徒指導主任を中心に全教職員が全校的な視野に立つて指導し、教職員と児童生徒相互の温かい人間関係に努めていきます。

国を愛する信条評価は

問 国を愛する信条を評価すべきものか、教育委員会としての見解は。

隣接する消防団大井第四分団車庫の建て替えの予定はいつか。

答 (仮称)コミュニティーセンターとし一階を分館、二階をコミュニティーセンタースタイルに、平成十九年三月の完成を目指し、本年七月に着工。分団車庫は、平成十九年度に着工予定です。

技術援助者の職務と内容は

問 市役所から派遣された技術援助者の職務は区画整理の調査、計画、測量等だと思うが、技術援助者の本来の職務と内容は何か。

答 技術援助者は発足から終了まで調査計画、設計工事、移転補償、管理運営全般にわたります。

緑ヶ丘亀居区画整理の結論は

問 この地域では区画整理の話が出てから三十年は過ぎていた。土地利用について、市が一定の指導性を発揮し、地域のひと協議を進めるべき。
答 市街化区域に編入していくための手法、条件等を地権者に説明する必要があると考

え、アンケートや各地区ごとの説明会の開催などを検討し

学校と地域のリンクを図れ

(仮称)大井第七小の通学区と開校について

問 (仮称)大井第七小の学区はいつ決まるのか。通学区を整備しなければ保護者の理解は得られないと思うが。

答 学区審議会で八月末に答申をまとめ、説明会の後確定します。正門前の信号機設置と弁天の森のルート整備が必要と考えます。

問 (仮称)大井第七小の通学区案が三つ示された。基本構想と計画がまとまり、基本設計などさまざまなことが同時に進行する。平成二十年四月に開校できるのか。地域住民保護者への説明会は、通学区案を答申する前に実施すべき。

答 平成二十年四月開校はかなり厳しい状況です。答申前に説明会を開くことを検討し

た後に、地元に入っていくと考えると考えます。



学校

学校での法教育の指導方法は

問 学校において法教育をどのように指導しているか。

答 児童生徒の発達段階に応じて道徳、特別活動及び総合的な学習の時間に法や決まりの意義、司法の仕組みなどについて指導しています。また、規律ある態度の育成を、学校と家庭が連携して取り組んでいます。

学校図書館の環境整備を

問 学校図書館の図書数の格差をなくし、児童・生徒が公平に多くの本に親しめる環境の整備と、図書数の充実・司書の配置とネットワーク事業の推進、さらに市民開放をし

答 教育課程の編成及び通知表の作成については、各学校



福祉

やさしく前向きな支援を

基本健診無料化復活を

問 増税など住民負担が増えている、有料化は受診抑制を招く。無料化は一、九〇〇万円で復活できるかどうか。

答 健康の自己管理と公平性を期して、有料化を導入しました。

保育所の耐震強度・調査

問 保育所の耐震強度と調査については。

答 現在の耐震基準以前に建設された七施設西、新田、滝大井、亀久保、亀居、鶴ヶ岡は、各施設とも老朽化に伴い、今後の検討課題とします。また、保育需要の多様化に伴う保育所の配置を含め、総合振興計画の策定に位置づけたい。

問 ジョブコーチ制度の実を

学童保育の促進に財政援助を

問 県の放課後児童クラブ運営基準に沿って、促進事業として財政援助を。

答 財政が厳しいことは把握していますが、増額は考えていません。話し合いをしていきます。

児童館名の変更

問 児童館名の変更については。

答 名称変更検討中です。次世代育成支援行動策定が開始され、児童館と学童保育機能の分離等を含めて名称変更を検討したい。

問 ジョブコーチ制度の実を

介護予防サポーターの育成を

問 介護予防サポーターの育成について、どのように考えているか。

答 高齢者自らが介護予防に取り組むため、地域において普及啓発を行なう支援者の養成が必要です。転倒予防体操サポーター講座を年三回行ないます。

障がい者の就労援助は

問 障害者の就労援助について、市として手助けできないか。

答 県から障害者相談事業の要請があったので、(仮称)就労支援センター的なものを当市に設置し、就労支援をハローワークとともに進めていきたい。



上福岡図書館内の喫茶店「ばば」

■鈴木 実
①上福岡駅西口階段下横断歩道設置②川越に向かう線路際歩道の確保③十八年度予算、十九年度予算編成に向けて

■民部佳代
①公共施設のオンライン予約②(仮称)大井第七小の学区決定までの過程と通学区の安全対策

■五十嵐正明
①新たな財源確保について②学校における法教育について③運動公園施設管理公社の今後のあり方と施設運営は

■高野正得
①教育について(国を愛する信条の評価は・道徳教育のあり方・児童の出席停止の考えは)

■堀口修一
①自然環境の保全・再生(市民管理協定制度・ピクトール)②防犯対策防犯パトロール・安全マップ・緊急避難所

■有山 茂
①農業振興地域の格差は②山林の保全(野焼き)は③鶴ヶ岡分館の建て替えは④消防団車庫の建て替えは

■福村光泰
①南台二丁目さくら薬局前丁字路改良②住居表示(未整備地域)の進捗状況③廃虚化した土地建物の対応について

■石山皓一郎
①介護予防事業の取り組みのポイント②防災施設

■鈴木啓太郎
①市民参加を制度化する自治基本条例②市民側からの学校評価と情報公開③児童館の安全確保(特に第三児童館)

■新井光男
①体育館・公民館の使用料減免②市独自のマンション施策③大井地区の農地の宅地並み課税と生産緑地の考え方

■伊藤美枝子
①学校図書館の環境整備・図書充実・司書配置・ネットワーク事業化・市民開放を②マタニティマークの啓発推進

■奥野裕美
①学童保育について②(仮称)大井第七小について③うれし野会館の今後の利用④学校給食と保育所給食について

■島田修司
①西部地域に市営住宅の建設を②西部地域の農業振興対策と後継者育成③三芳PASマートICの恒久化

■大石正英
①障害者自立支援法と改正障害者雇用促進法について②新河岸川洪水予報と雨水対策